

2025年度「教員アンケート」結果

【ABC評価】 A：3.4以上 B：3.4未満～2.8以上 C：2.8未満

【4点評価】 4点：できている 3点：どちらかといえばできている 2点：どちらかといえばできていない 1点：できていない

		0	1	2	3	4	総合評価	0	1	2	3	4		
授業改善の達成度	専門知識・技能に自信を持った指導	3.2					B	3.2					B 1	自らの専門知識・技能に自信をもって指導している
	授業の学習規律が成立している	3.6					A	3.8					A 2	チャイムとともに授業を開始している
								3.6					A 3	始礼、終礼をきちんと指導している
								3.3					B 4	自分（教師）の指示に、しっかりと生徒が反応した指導ができている
	学習環境が整えられている	3.3					B	3.2					B 5	常に掃除が行き届くよう指導するとともに、率先している
								3.3					B 6	教材、教具、ICT機器等を常に整理整頓している
	ねらいにそった指導と評価を行っている						B	3.3					B 7	掲示や教材・教具の配慮等を工夫している
								3.3					B 8	本時のねらいを明確にした授業を行っている
								2.8					B 9	ねらいが達成できたかを意図的・計画的に評価している
								2.9					B 10	生徒に達成感を実感させ、達成度を自己評価できるよう工夫している
	わかる授業をめざし、創意工夫した授業を行っている						B	2.8					B 11	「協同的探究学習」など主体的・対話的で深い学びに向かう授業を意識している
		3.0						3.1					B 12	ICT機器を有効活用した授業や教育活動を行っている
					3.2					B 13	計画的、意図的な発問・指示を適切に行っている			
生徒理解に基づく指導を心掛けている						A	3.2					B 14	授業における板書を大切に、構造的に整理する（創る）ことができている	
							2.7					B 15	道徳科による「対話的学び」を理解し、授業構想を立てている	
	3.4						3.5					A 16	生徒の取組み方や習熟の程度に応じて、ほめたり励ましたりしている	
							3.6					A 17	生徒一人一人の質問に丁寧に対応している	
学校運営の達成度	生徒を大切にしたい生徒指導ができている						B	3.3					B 18	学習内容の理解に応じた指導を行っている
		3.2						3.0					B 19	不登校の未然防止策の目的を理解し、機を失わず、継続した取組を行っている
								3.3					B 20	いじめの定義と発生の仕組みを理解し、いじめの未然防止に全力を尽くしている
	情報発信	3.5					A	3.5					A 22	tetoruや便り等で保護者への適切な情報発信を行い、相互理解に努めている
	学校安全	3.4					A	3.4					A 23	学校安全のリスクマネジメントのため、安全管理・安全教育を普段から行っている
	メタ認知を心掛け、資質向上に努めている						B	3.2					B 21	生徒会活動や行事、学級経営において生徒の主体性を伸ばす教育活動を行っている
		3.3						3.1					B 24	校訓と学校教育目標を基盤とした学年経営、学級経営、教科指導、生徒理解、生徒指導を行っている
								3.7					A 25	法令《道路交通法、体罰、個人情報、金品管理、不適切な行動・発言、人権、県条例（セクハラ、学校禁煙）》を遵守している
								3.5					A 26	保護者や地域から誤解を受けないような服装、身だしなみ、行動、接遇能力の向上に努めている
								3.1					B 27	前例踏襲に縛られず、生徒のために創造的な取組を生み出すことができる
							3.3					B 28	誰とも相互利益を目指した良好なコミュニケーションをとることができる	
							3.1					B 29	PDCAサイクルの中で、目的と目標、手段を吟味し、たゆまぬ改善活動に努めている	
							3.1					B 30	業務改善や勤務時間の適正化を意識している	
							3.3					B 31	50周年記念事業を通して、学校や地域への愛着や誇りを生徒にもたせることができた	